

協働の原則に基づいた評価項目

変更前

1	対等性	互いに対等の関係を保つことができたか。
2	相互理解	互いの立場や特性を相互に理解し尊重したうえで、それぞれの役割を明確にすることができたか。
3	自主性尊重	協働相手の長所を活かし、協働相手の自主性を尊重することができたか。
4	自立化	互いに依存することなく、協働相手の自立化を進められたか。
5	目的共有	協働相手と目的を共有することができたか。
6	相互補完	互いの特性を踏まえつつ、互いに補い合いながら役割分担することができたか。
7	公開	協働事業のプロセスや結果等の情報を公開し、市民に対する説明責任を果たすことができたか。
8	相互変革	協働を通して「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」という姿勢や意識を持つことができたか。
9	期限設定	馴れ合いを防ぐため達成目標や事業期間など協働関係を解消する条件を決め、緊張感を保つことができたか。



変更後

1	対等性	お互いに上下の関係ではなく、パートナーとして対等な関係を保つことができましたか。
2	相互理解	お互いの立場や特性を理解し尊重したうえで、役割を明確にして取り組むことができましたか。
3	自主性尊重	(行政) 協働相手の長所を活かし、協働相手の自主性を尊重することができましたか。
		(協働相手) 自分たちの強みや得意分野を活かして取り組むことができましたか。
4	自立化	(行政) 協働相手の自立化を進められましたか。
		(協働相手) 行政に依存することなく、自分たちの力で取り組むことができましたか。
5	目的共有	協働相手と目的を共有することができましたか。
6	相互補完	お互いの特性を踏まえ、補い合いながら取り組むことができましたか。
7	公開	協働事業の取組経過や成果について、それぞれがわかりやすく情報発信することができましたか。
8	相互変革	協働を通して「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」という姿勢や意識を持つことができましたか。
9	期限設定	事業の達成目標を明確にし、適切な期間を定めて取り組むことができましたか。